

Islam Hadhari

—アブドゥッラー政権におけるイスラーム政策の指針—

塩崎 悠輝*

Islam Hadhari (Civilizational Islam、文明的イスラーム)は、マハティール政権末期より YADIM (Yayasan Dawa Islam Malaysia) などにより唱えられてきたが、アブドゥッラー政権成立後、特に 2004 年 3 月の総選挙においては UMNO と PAS のあいだで論点の 1 つとなっている。

2004 年 9 月の UMNO 党大会において Islam Hadhari の十大原則を提示して以降は、政府内において Islam Hadhari をめぐる言説が多く現れており、Islam Hadhari の学習、Islam Hadhari に則った行政、経営等が広く呼びかけられている。Islam Hadhari とは何か解説し、Islam Hadhari 普及活動に関する情報をまとめているのは、首相府が立ち上げた Islam Hadhari のホームページ¹、アブドゥッラー政権によって 2004 年 9 月 14 日に新設された Yayasan Islam Hadhari (Islam Hadhari 財団) のホームページ²、そして JAKIM (Jabatan Agama Kemajuan Islam Malaysia) のホームページ³などである。また、IKIM (Institut Kefahaman Islam Malaysia)、YADIM、各国立大学などでも Islam Hadhari 普及活動が頻繁に行われている。

2004 年 9 月 23 日の UMNO 党大会で提示さ

れた Islam Hadhari の十大原則とは以下のようなものである。

1. 神への信仰と敬い、
2. 公正で信頼できる政府、
3. 自由で自立した人民、
4. 知識の習得、
5. バランスのとれた包括的な経済発展、
6. 良質な生活、
7. マイノリティー・グループと女性の権利保護、
8. 文化と道徳の統合、
9. 環境の保護、
10. 強固な防衛⁴

この党大会以降、マス・メディア、セミナー等でみられる Islam Hadhari に関する言説は、ほぼこの十大原則から敷衍されたものである。これらの原則は基本的にマハティール政権のイスラーム政策を継続することを示すものであり、従来からの国家原則(ルク・ヌガラ)、NEP などにもまったく矛盾しない。イスラームの文脈から欧米の近代的知識の習得、経済発展、マイノリティーや女性への保護が謳われているのは、マハティール政権においてもそうであったように、第一義的には PAS との対峙において UMNO の正当性を主張する意味がある。

PAS は、2005 年に入ってから、一連の Islam Hadhari 批判キャンペーンを展開中であり、党首アブドゥル・ハディ・アワンは“*Hadharah Islamiyyah Bukan Islam Hadhari*”と題する著作を出版し、その中で、イスラームは社会全般に関わる包括的な宗教であり、「文明的イスラーム」というような語は「経済的イスラーム」「政治的

¹ <http://www.islamhadhari.org/>

² <http://www.islamhadhari.net/>

³ <http://www.islam.gov.my/islamhadhari/>

* 国際イスラーム大学マレーシア(UIAM)

イスラーム」等の語と同様、社会の特定の分野のみのイスラーム化が強調されてしまうことになるとして、語用論上の観点から Islam Hadhari を批判している⁵。

一方で、1994年に非合法化されたダルル・アルカムがアブドゥッラー政権下で再び活性化の兆しを見せており、指導者アシュアリー・ムハンマドの著書が相次いで出版されている。そのうちの一冊は“*Islam Hadhari*”と題する、Islam Hadhari とアブドゥッラー首相を手放して礼賛する内容である。これに対して、アブドゥッラー首相は、Islam Hadhari にはイスラームからの逸脱はなく、ダルル・アルカムの教えを復歸させる要素はない、と述べている⁶。

イスラームとは神への絶対的な帰依のことであり、イスラーム化政策の目的は、究極には神の言葉とされるクルアーンとハディースから敷衍されたシャリーア(イスラーム法)の施行でしかありえ

ない。南洋工科大学の Institute of Defence and Strategic Studies リサーチ・アナリスト Muhammad Haniff Hassan が指摘しているように、マハティール政権下での、イスラーム国家宣言(2001年)を含めたイスラーム化政策の延長上にあつて、アブドゥッラー政権のとりうるイスラーム化政策は、結局は、いかにしてシャリーアを施行していくかということに収斂していかざるをえない⁷。

Islam Hadhari という語が、新しいイスラームの一派のごとき印象を与えかねないという批判は、PAS からでもでており、政府側も、Islam Hadhari は新しい宗教、新しいマズハブ(法学派)ではない、と繰り返し断っている⁸。アブドゥッラー首相は、インタビューの中で、ムスリム・マレー人のあいだでの quality of life の向上、シャリーアの施行、ノン・ムスリムに対するイスラーム知識の普及、などを通じたマレーシアにおけるイスラーム化政策を進めるための行政のアプローチのあり方と定義している。

イスラームの信徒が開発途上で失敗していれば、ノン・ムスリムはイスラームを信徒に何の利益ももたらさない宗教とみなして、イスラームは不評を買うでしょう。

たとえば、近年起こっている暴力行為は西洋世界においてイスラームが暴力を煽っているという声を聞くほどです。これはマイナスの評価です。多くのムスリムが互いに反目しているのを見られた時、イスラーム諸国の中に理解

⁴ *The Star*, 2004年9月24日。

⁵ Tuan Guru Hj. Abdul Hadi Awang (2005) *Hadharah Islamiyyah bukan Islam Hadhari*. Kuala Lumpur: Nufair Street. Islam Hadhari という語は、元来、エジプト等において世俗主義者などがサウジアラビアの建国イデオロギーであるワッハブ主義をイスラーム・バダウィ(ベドウィンのイスラーム)として非難し、それと対置してイスラーム・ハザーリー(文明のイスラーム、マレーシア語では Hadhari と転写してハドハリと発音する)を唱えていた1980年代、90年代によくみられたものである。マレーシア政府首相府、Yayasan Islam Hadhari などは、マレーシア版 Islam Hadhari とエジプトで行われた対サウジアラビア・プロパガンダとしてのイスラーム・ハザーリーの関係には一切言及していない。PAS は、Islam Hadhari 攻撃キャンペーンの一環において、この語が1980年代のアラブからの借用であることを指摘している(Harakah.1-15 Mac)。

⁶ *BERNAMA*.2005年3月22日。

⁷ <http://www.idss.edu.sg/>

⁸ *The Star*. 2005年9月24日。

不足と世界でも貧しい国々がある時、ムスリムたちのイメージが悪いが故に、イスラームのイメージは悪くなってしまう。

したがって、このような状況において、Islam Hadhari というアプローチが用いられます。Islam Hadhari は新しい宗派でも、新しい宗教でもまったくありません。新しいイデオロギーでもなく、単にムスリムを神が祝福され給う進歩に向かわせるための新しいアプローチであるのです⁹。

また、Islam Hadhari を説明して、アブドゥッラー首相はこうも述べている。

Islam Hadhari、英語で Civilizational Islam と訳しております。よい行政と成果のための私たちのアプローチであり、政府が国の幸福と多民族で多宗教の全住民の福利のための行政をめざす路線であります。イスラームの教えが私たちの行いの基礎と着想となりますが、利益はすべてのマレーシア人に、ムスリムにもノン・ムスリムにも同様に平等に共有されることをめざします¹⁰。

OIC 議長国として、ムスリム諸国に対する Islam Hadhari 普及の試みもいくつか見られる。アラブ世界におけるイスラーム主義運動主流であるムスリム同胞団系のホームページ、Islam Online においても Islam Hadhari は紹介され

ている¹¹。ニューズウィーク誌においても、アブドゥッラー首相はトルコのエルドガン首相と並んで、穏健なイスラーム指導者の代表として紹介された¹²。

多元的な社会において、またグローバル化の進む国際環境において、Islam Hadhari はアブドゥッラー政権が今後もイスラーム化政策を継続するために採ろうとしているアプローチである。Islam Hadhari の説明は欧米社会にも受け入れうる内容であり、経済面を中心に国際競争力の充実をめざすものであるとされる。マレーシア国内のノン・ムスリムにイスラームへの理解を求めていこうとする側面もうかがえる。

2004年9月23日のUMNO党大会において、アブドゥッラー首相は、マレーシアのムスリムが、預言者ムハンマドがメッカ奪回の最終段階で対立する異教徒とのあいだに結んだフダイビーヤ和約の精神に学ぶべきことを説いた。この和約において、預言者は異教徒側に対して軍事的優勢を確保しているにも関わらず、多くの要求をしなかった。しかし、翌年大規模なメッカ巡礼を行った結果、そのままメッカを勢力下に治めた。

アブドゥッラー首相の主張には、現時点ではノン・ムスリムに対して過度な要求は行わず、経済的成果を共有し、将来的にイスラーム化政策が受け入れられていくのを待つべきである、という論理がうかがえる。

⁹ BERNAMA. 2005年2月10日。

¹⁰ The Launching of the Capacity Building Programme for OIC Countries におけるスピーチ、Putrajaya, 2005年3月29日。

¹¹ <http://www.islam-online.net/>

¹² The Newsweek, 2004年12月27日 / 2005年1月3日。